

## 研究例会 1996年～2004年

### 2004年7月3日(土) 第19回研究例会 名古屋工業大学

日本語テスト学会(JLTA)第19回研究例会

場所：名古屋工業大学 11号館 サテライト教室2 (名古屋市昭和区御器所町)

日時：2004年7月3日 (13:00～16:30)

受付 (12:30～)

開会 (13:00)

発表

1:15 「中国・韓国・シンガポール・日本の英語教育 (テストの観点から)」

中村洋一 (常磐大学)

2:00 English Education from the Korean Perspective; the KATE 2004 International Conference

Randy Thrasher (沖縄キリスト教大学)

2:30-2:45 coffee break

2:45 Inter Reliability in Oral Interview Testing

Kelly Quinn (名古屋工業大学)

3:30 「コーパスを使った英語問題の自動生成」

小山由紀江、中野智文 (名古屋工業大学)

4:15 閉会の辞

参加費：JLTA 会員無料、一般：1000円

問い合わせ：名古屋工業大学情報メディア教育センター 小山由紀江

E-mail: [koyama@center.nitech.ac.jp](mailto:koyama@center.nitech.ac.jp)

会場 アクセス 地図：大学までの交通機関

[http://www.nitech.ac.jp/gene\\_inf/g20/g20\\_020/g20\\_020z.html](http://www.nitech.ac.jp/gene_inf/g20/g20_020/g20_020z.html)

キャンパス内の会場 (サテライト教室2) 位置：<http://www.edsys.center.nitech.ac.jp/>

懇親会：参加費 4000円 (飲み物別) 6月26日(土)までにお知らせ下さい。

**2003年12月20日(土) 第18回研究例会 静岡産業大学**

共催：英語教育をおもしろくする会

日本言語テスト学会(JLTA)第18回研究例会

場所：静岡産業大学国際情報学部（藤枝市駿河台 4-1-1）

日時：2003年12月20日（13：00～17:00）

受付（12:30～）

開会（13:00）

講演（13:10～14:00）

中村 洋一（常磐大学）

「何のために、何を、どのように測定し、どのように評価するのか？」

休憩（14:00-14:10）

発表・・・（14:10-15:10）

発表・杉本 博昭（伊東市立北中学校）（14:10-14:40）

「中学校における指導と評価の現状と問題点」

発表・織田 敦（静岡県立掛川西高校）（14:40-15:10）

「観点別評価を意識した指導とテスト作成」

休憩（15:10-15:20）

発表・・・（15:20-16:10）

発表・法月 健（静岡産業大学）（15:20-15:45）

「文章の読みやすさを決める要因とは？：日本人英語学習者のためのリーダビリティ新公式の開発を目指して」

発表・宮崎 佳典・工藤 良一（静岡産業大学）（15:45-16:10）

「Readability 新公式提案に向けてのプログラム実装」

休憩（16:10-16:20）

フリーディスカッション（16:20-16:50）

閉会（16:50）

共催：英語教育をおもしろくする会

参加費：（JLTA、英語教育をおもしろくする会）会員無料、一般：1000円

問い合わせ：静岡産業大学国際情報学部 法月 健

E-mail: norizuki@ssu.ac.jp

会場アクセス地図：<http://www.fujieda.ssu.ac.jp/kyoumu/map.htm>

懇親会：15名程度まで 食事4000円（飲み物は別）

## 2003年6月7日(土) 第17回研究例会 北海学園大学

日本語テスト学会 (JLTA) 第17回研究例会

日時： 2003年6月7日(土) 午後13時 ~ 17時

会場： 北海学園大学経済学部 (札幌市豊平区旭町4-1)

プログラム：

報告： 「北海学園大学の英語入試問題はどのように変わってきたか」

塩川春彦 (北海学園大学)

発表 I: 「外国語学習者の持つ言語能力の把握とその適切な測定」

浦野 研 (北海学園大学)

発表 II: 「絶対評価でのオーラルコミュニケーションの評価」

斉藤英敏 (北星学園大学)

中川淳 (札幌稲北高等学校)

福田修平 (札幌稲北高等学校)

参加費：会員 (JLTA・北海道英語教育学会) 無料、一般 資料代等として1,000円

共催：北海道英語教育学会

問い合わせ先：北海学園大学経営学部 塩川春彦

E-mail: shiokawa@econ.hokkai-s-u.ac.jp

## 2002年11月30日(土) 第16回研究例会 愛知学院大学

第16回日本語テスト学会研究例会のご案内

日時：2002年11月30日(土) 午後1時～5時

会場：愛知学院大学 学院会館

(日進市岩崎町阿良池12)

発表 I: Inspecting a Test Based on the Classical Theory and the  
Generalizability Theory Analyses

Sumie Matsuno (Aichi Prefectural University)

発表 II 「TOEIC スコアに基づいて語彙力を評価する WEB 上の英単語  
テスト開発について」

風斗博之 (東北学院大学)

発表 III 「Test-wiseness と英語リスニングテスト得点の関係」

土平泰子 (茨城大学)

発表 IV 「公正なテスト作問と評価のあり方について」

法月 健(静岡産業大学)

参加費：無料、 但し非会員は、資料代等として1,000円

問い合わせ先：愛知学院大学 伊藤彰浩

E-mail: <mailto:akito@dpc.aichi-gakuin.ac.jp>akito@dpc.aichi-gakuin.ac.jp

### ●会場へのアクセスおよび注意点●

1. 会場までのアクセスは愛知学院大学のホームページをご覧ください。
2. ホテルの予約は次の URL をご覧ください。大学の最寄の駅は藤ヶ丘ですが、研究例会の次の日に新幹線を利用されるかたは名古屋駅付近にホテルを予約した方が便利かもしれません。ご検討下さい。

[http://www2u.biglobe.ne.jp/~MR-Net/hotelslink-D/17\\_aichi.html](http://www2u.biglobe.ne.jp/~MR-Net/hotelslink-D/17_aichi.html)

3. 研究例会は午後1時に受付を開始します。
4. 昼食はできるだけ済ませてから会場に来てください。ただし、大学にはローソンがあります。守衛さんに場所を聞いてください。
5. JR 名古屋駅からは、東山線(名古屋市鉄) の栄・藤ヶ丘方面に乗り換え、終点の「藤

ヶ丘」で下車。その後、バス「愛知学院大学行き」かタクシーをご利用ください。現在、愛知万博の工事の影響により道が込むこともあります。概ね 20 分以内には到着します。バスの料金は片道 300 円前後、タクシーならば 1000 円から 1500 円程度です。2 名以上ならばタクシーをおすすめします。なお、注意ですが、タクシーをご利用になる際には運転手さんに必ず、「愛知学院大学の日進（にっしん）キャンパスまでおねがいします」といってください。大学本部はまったく逆方向にあり、注意が必要です。研究例会の会場となる「学院会館」は日進キャンパスの正門から入り、守衛室(守衛さんの休憩室)を超えた右側にあります。おそらく運転手さんに学院会館までといえはその前までタクシーを横付けしてくれると思います。

6. 懇親会は、会費 5 0 0 0 円程度で、会場へは大学では大学からバスで行きます。地下鉄の沿線上でとても便利なところです。参加希望のかたは当日、料金を納めてください。

7. その他、質問があれば伊藤彰浩 (<<mailto:akito@dpc.aichi-gakuin.ac.jp>>[akito@dpc.aichi-gakuin.ac.jp](mailto:akito@dpc.aichi-gakuin.ac.jp)) までご連絡ください。宜しく願申し上げます。伊藤彰浩

**2002年6月22日(土) 第15回研究例会 麗澤大学**

日時：2002年6月22日(土) 午後1時～4時

会場：麗澤大学 3203番教室

(柏市光ヶ丘2-1-1) 常磐線南柏駅から、徒歩15分、バスで5分程度。

発表Ⅰ 「自動的処理能力を反映する日本語テスト SPOT」

小林典子(筑波大学)

発表Ⅱ 「口頭能力試験の調査・開発について」

国際交流基金スタッフ

発表Ⅲ 「日本語 Can-do-statements は何を測定しているのか？

—ある大学のプレイスメントテストを外的基準として—

野口裕之(名古屋大学大学院)

参加費：無料、 但し非会員は、資料代等として1,000円

問い合わせ先：麗澤大学 大坪一夫研究室

E-mail: Kazuo.Ohtsubo@Reitaku-u.ac.JP

**2001年12月8日 第14回研究例会 東京経済大学（6号館7階中会議室3）**

日本語テスト学会（JLTA）第14回研究例会

日時：2001年12月8日（土）15：00～17：30

場所：東京経済大学（6号館7階中会議室3）

（〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34）

14:30～ 受付（\*事前申し込み不要。参加費：会員 無料・一般 1,000円。）

15:00～16:10 発表 I

Validation in Language Testing and Teaching - a long and winding road

Jeff Hubbell (法政大学)

16:10～16:20 休憩

16:20～17:30 発表 II

「英文読解における Schema Modification Test の開発」

卯城 祐司 (筑波大学)

\* 上記研究会についてのお問い合わせは、事務局 (youichi@avis.ne.jp, TEL: 026-275-1964)

あるいは、研究例会担当中村優治(e-mail: nkyj@tku.ac.jp) まで。

**2001年6月23日 第13回研究例会 熊本大学 教育学部 345 教室 (熊本市黒髪 2-40-1)**

総合司会 Randy Thrasher (JLTA 副会長・国際基督教大学)

会場校挨拶 大迫 靖雄 (熊本大学教育学部長)

会長挨拶 大友 賢二 (常磐大学・筑波大学名誉教授)

ワークショップ

紹介 大友 賢二 (JLTA 会長)

「テストデータ分析ワークショップー古典的テスト理論と項目応答理論ー」

中村 洋一 (JLTA 事務局長・常磐大学)

研究発表

I 「教室でのクローズ・テストの利用について」

高梨 芳郎 (福岡教育大学)

II 「定期テストの質の向上に向けての一提案」

吉川 勝正 (熊本学園大学)

III 「日本と台湾における大学英語入試問題の readability に関する比較分析

ー2001 年度大学入試センター試験と八十九年度大学総合招生考試の

英語読解問題を中心にー」

木下 正義 (福岡国際大学)・大津敦史 (福岡大学)

研究会総括 Randy Thrasher (JLTA 副会長)

閉会の挨拶 木下 正義 (JLTA 理事)

懇親会 17:30~19:30 (くすの木会館)

**2000年12月2日(土) 第12回研究例会 12:30~16:10 神戸松蔭女子学院  
大学**

講演 紹介 大友 賢二 (JLTA 会長・常磐大学)

Foreign Language Education Macro-Policies in Japan and Korea: Steps Toward an Impact Analysis

講師 Steven Ross (JLTA 評議員・関西学院大学)

研究発表

発表 I On the Estimation of TOEIC Gain Scores in a Four-Year Program with Partial Data

Thomas Robb (京都産業大学)

発表 II Development of an Oral Proficiency Test for English as a Foreign Language



Elizabeth Hiser (関西外国語大学)

発表 III A Two Year Study of Japanese Learning Approaches

Parrill Stribling (関西外国語大学)

**1999年11月23日(火) 1300 ~ 16:00 北海道大学言語文化部**

第11回研究例会 (JACET 北海道支部との共催)

講演: 「言語テストと言語教育ーテスト得点からの視点」

講師: 大友賢二 (常磐大学)

ワークショップ: 「スピーキング能力測定のあり方」

講師: 中村優治 (東京経済大学)

司会・進行: 浪田克之介 (北海道大学)

**1999年5月8日(土) 16:00 ~ 18:00 日本英語教育協会4階会議室**

第10回研究例会

題目: 「英語教員志望学生に必要な言語テスト教育とは」

形式: 発表者の提言を基にした全員参加型の討論会

発表者: 浪田克之介 (北海道大学)、Steven Ross (関西学院大学)、根岸 雅史 (東京外国語大学)

司会: 中村優治(東京経済大学)

**1998年12月12日(土) 13:00 ~ 19:00 西南学院大学学術研究所大会議室**

第9回研究例会

講演: 「言語テストの得点」

JLTA 会長 大友賢二 (常磐大学教授・筑波大学名誉教授)

研究発表 1: 「日本と韓国の高校生を対象としたオーラル・コミュニケーション能力重視のリスニング・テストの実施結果分析」

島谷浩 (熊本大学)・木下正義 (福岡国際大学)・石井和仁 (福岡大学)・大津敦史 (福岡

大学)・川尻徳 (宮竹中学校)・高梨芳郎 (福岡教育大学)・Terry Laskowski (熊本大学)

研究発表 2:「韓国修学試験問題に関する一考察」

木下正義 (福岡国際大学)・島谷浩 (熊本大学)・Terry Laskowski (熊本大学)・山本広基 (西南女学院短大)・竹村雅史 (岩見沢東高校)

**1998年10月3日(土) 15:30 ~ 17:30 日本英語検定協会特別会議室**

第8回研究例会

講演:「個人適応型コンピュータテストの開発」

講師:林 規生 (日本生涯学習総合研究所 新評価システム研究プロジェクト課長)

**1998年6月13日(土) 15:00 ~ 17:30 日本英語検定協会ビル3階 英教会議室**

第7回研究例会 [JACET テスト研究会との共催]

講演

「大学入試センターの研究活動」 柳井晴夫 (大学入試センター)

**1998年5月9日(土) 15:00 ~ 17:30 日本英語検定協会ビル3階 英教会議室**

第6回研究例会 [JACET テスト研究会との共催]

発表

「リーディングテストの妥当性の検証」 根岸雅史 (東京外国語大学)

"Issues in Matching Assessment and Educational Objectives" Jeffrey King Hubbell (法政大学)

**1998年2月14日(土) 15:30 ~ 17:30 日本英語検定協会ビル3階 英教会議室**

第5回研究例会 [JACET テスト研究会との共催]

発表

「日本語教育における評価 — コースにおける成績と終了後の評価 —」 村上京子 (名古屋大学留学センター)

「中国における日本語教育 — 山東師範大学の場合 —」

高松美佐男 (中国山東師範大学客員教授・和歌山日本語学校)

**1997年12月13日(土)13:30～関西大学千里山キャンパス100周年記念会館**

第4回研究例会 [JACET 関西支部との共催]

発表

「言語テストの理論と実践」 服部千秋 (神戸商科大学非常勤講師)

"English Questions for University Entrance Examinations: Suggestions for Test-makers" David Peaty (立命館大学)

「英語教育改善のために高校英語教員と大学入試問題作成者は今なにをすべきか— 実証データを踏まえて—」 鈴木寿一 (大阪府立三国ヶ丘高校)

**1997年9月13日(土)14:30～17:00 上智大学6号館 210**

第3回研究例会

発表

「大学英語入試問題を考える — 読解問題を中心として —」 清川英男 (和洋女子大学)

**1996年6月14日(土)14:30～17:00 上智大学10号館 322**

第2回研究例会

発表

「波及効果をもたらす大学入試とは? — 授業研究からの報告 —」 渡辺良典 (国際基督教大学)

「外国語学習者の能力レベルから見た中間言語の多次元性」 安間一雄 (玉川大学)

「LTRC '97 参加報告」 Randy Thrasher (国際基督教大学)、中村優治 (東京経済大学)

**1996年12月14日(土)13:00～18:00 上智大学中央図書館9階会議室**

第1回研究例会

講演

「言語テストの諸問題 — テスト理論の授業への応用 —」 大友賢二 (会長・常磐大学)

発表

「日本語能力試験について」 大坪一夫 (東北大学)

「リスニングテスト・アイテムバンクの実現可能性について」 中村洋一 (長野県篠ノ井高等学校)

'Linking a university examination to international standards' John Shillaw (筑波大学)

'TOEFL, TOEIC, JACET and BETA: What correlations can and cannot tell us'

Randy Thrasher (国際基督教大学) and Ishikawa Shoichi (防衛大学校)

懇談会 設立の経緯、趣旨説明

詳細は以下参照

<https://e-learning-service.net/jlta.ac/file.php/1/homepage/INFO.html>